

平成28年度 第4回理事会 議事報告書

1. 日時 平成28年7月28日(木) 午後1時～午後4時30分
2. 場所 岸記念体育会館 5階 504号室
3. 出席者 理事18名、監事3名
(*欠席：理事1名)
4. 陪席 大江直之(事務局長)
5. 議長挨拶 事務局より定款に基づき、高橋義博会長が本理事会の議長を務める旨説明。議長より次の通り挨拶があった。
過去、「本部理事に就任すると給料が出る」などという無責任で事実無根な話を聞いたことがある。本部理事は、ボランティア精神で協会の再構築に取り組み、正常な協会活動とそれを向上させ、自他ともに認められる協会に醸成しなければならない。また、国体の隔年開催を是正、更に銃刀法等の法改正を関係省庁へ提言し、クレー射撃の普及・振興に寄与する有志である。その上、協会運営で赤字が出た場合は、理事の責任で補填頂くことも厭わない有志の集まりである。
冒頭のような歪曲した発言を許すのは周知不足が根源と思われる。周知不足や無理解を防ぐよう情報公開を推進し、3R宣言の下、品格のある協会運営を目指し、静かに確実に粛々と努力されることを各位へお願いしたい。
本理事会も報告事項や審議事項が多く、また、閉会后懇親会も予定しているので、円滑な議事進行にご協力願いたい。
6. 報告事項
 - (1) ISSF 総会報告(ロシア)
オリンピック・イヤーに開催されるISSF総会は必ずオリンピック開催地で行うため、2020年は東京で開催される。

管轄は総務委員会となる。また、日本ライフル射撃協会と効率の良い分業制で行なうことが望ましい。

(2) 夏季本部公式大会②(花巻)

事務局より上記本部公式の成績報告。

佐藤競技委員長より、開催期間中の本部クラスと地方公式クラスの申告齟齬が発生した事案報告あり。

(原因)

競技規定によるクラス変更の表記や手続き等の真意が理解し難い。

- 1 競技規定によるクラス分けの対象は、3A または 2A 選手が休会したり一時退会した後、再入会時のクラス扱いを表記。
- 2 執行部混乱時に表記が一部欠落し、対象が全会員対象になり、追記で年度中のクラス変更希望者がいた場合、所属協会長を通して競技委員会へ自己申請をすることで可能になった。
- 3 結果、周知不足により、自己申告のみでクラス変更可能などのデマが一人歩きし、本部への無申告や確認不可等で齟齬が発生。上記事案発生後、地方協会より正式な申請手続きによる、年度内クラス変更者が数名あり。

(対処)

- 1 本理事会(7月28日)以後は、年度内のクラス変更は不可とする。
- 2 本理事会(7月28日)以前に本部申請済みのクラス変更者は容認する。当該選手一人一人へ通知を作成・発送。
- 3 原因や対処をホームページで発表し周知させること。

また、従前の記録集計ソフトがバグを起こし、集計不能のトラブルが発生したことが報告された。

及川専務理事が進行させている集計ソフトを補完し、次回の秋季本部公式大会(福岡)までに不具合が無いよう、丸石・増田両理事が及川専務理事と共にテスト・調整し、秋季本部よりこれを本格稼働させる。

(全員拳手により賛成)

(3) ランニング・ターゲット世界選手権大会(ドイツ)報告

事務局より成績結果を配布資料に添って報告。

(4) 2016年リオ五輪関係報告

事務局より、NHK-BS1及びJ:COMによるリオ五輪クレイ射撃競技のTV放映予定を配布資料に添って報告。

6. 審議事項

(1) 出張報告・会議報告について

増田総務委員長より、過去の本部運営において役職員の業務報告の不備が見受けられ、前回の理事会において出張報告・業務報告を義務付けることが承認された。

出張報告・会議（業務）報告の様式フォーマットを作成したので、今後は、役職員が出張、会議・事業実施した場合は、配布資料の様式フォーマットを利用し報告書を作成いただきたい旨を説明。

各報告書の捺印・確認順序は次の通り。

（出張報告書）起案者 → 事務局長 → 総務委員長 → 専務理事 → 監事
→ 会長

（会議・研修報告書）

起案者 → 事務局長 → 担当委員長 → 担当副会長
→ 監事 → 会長

（業務報告書）担当者 → 事務局長 → 担当副会長 → 担当職員 → 会長

本戸常務理事より、理事等執行役員が競技会に参加し、競技者を兼ねた場合、報告書等の提出により、執行役員として何らかの経費を受取ることができるような誤解を招く可能性は無いかと質問。

増田総務委員長より、役員の競技会参加について次の通り回答。

まず、役員は現役を引退すべき、執行部は引退後に参画すべき、等の誤解が生じている。「生涯スポーツ」であるクレイ射撃は、役員であっても参加可能であり、生涯現役であることが対内外的に評価されている。

また、逆に若い選手も協会運営に参画できるような環境作りをすることで本部や地方役員の若返りを図ることが肝要である。

質問があったケースを考えれば、本部役員が本部開催の競技会に競技者として参加する場合には、周囲の誤解や齟齬を防ぐため、一切の経費を受取

ることはできない。

(全員挙手により賛成)

(2) 医科学・アンチドーピング委員長の選任について

事務局より、女性役員の起用促進の観点から、これまでの同委員会副委員長を務めてきた岩尾美和子氏を推奨する旨、総合戦略会議(旧:三役会議)より上程されている旨説明。

(全員挙手により賛成)

(3) 平成 28 年度全日本選手権大会の実施要項について

事務局より配布資料に添って次の通り説明。

(前年度からの変更点)

- 1 開催日 10月27日(準備)
10月28日(シニア・女子)
10月29～30日(一般)
- 2 会場は神奈川県立伊勢原射撃場。
- 3 大会は7:30集合、9:00～競技開始。
- 4 シニアの年齢制限は満60歳以上。
- 5 全日本選手権(一般)の参加料は25,000円、(シニア・女子)13,000円
- 6 ダブルエントリー可
- 7 オリンピアン特別枠の設置
- 8 段級位3段以上の保持者の追加エントリー考慮

(全員挙手により賛成)

なお、段級位3段以上の追加エントリー詳細は競技委員会に一任された。

(4) 平成 29 年度本部公式大会について

高橋議長より次の通り説明。

本部公式大会の意義・目的は主に次の3点に集約され、結果、地方公式に波及することで業界全体の牽引役を担う認識を持っていただきたい。

- 1 クレー射撃の普及と振興、活性化
- 2 審判員の育成や競技ルールの周知など

3 国際大会派遣選手の醸成、競技運営の企画など

前述の意義・目的を達成するため、次の点を次年度の本部公式大会から改善したい。

- ◆先の定時社員総会で採択された「3R 宣言書」に記載されたアスリート・ファーストの観点から、参加選手数を60名程度に絞り、参加選手が高いパフォーマンスを発揮できるよう競技開始時間を9時とする。
- ◆毎年の本部公式スケジュールを何月の第何週と確定し、参加選手や競技役員、地方公式大会の日程を考慮する地方協会が認識し易くする。
- ◆国際大会派遣メンバーが全日本選手権のQP獲得に支障がないよう、特別枠でエントリー可とする。

(全員拳手により賛成)

なお、確定される本部公式スケジュール等詳細については、実績を参考に佐藤競技委員長と事務局に一任。

(5) 国民体育大会「2-2-1方式」について

高橋議長より議案説明。総会で「2-2-1方式」の採用が承認されているが、次の観点から再検討を行い、代替案を理事会で作成後、総会へ上程したい。

- ◆ブロック予選が消滅し、クレー射撃の競技力向上の観点から選手の競技力低下が懸念。
 - ◆競争原理が縮小し、選手の練習量低下。クレー射撃の普及・振興の観点から業界活性化に逆行する懸念。
- 関連業者への配慮（業界の活性化への逆行）
- ◆IOC提言による男女均等参加枠への対策

(全員拳手により賛成)

(6) 役員懇親会について

事務局より議案説明。これまでに本部公式大会や国体など、本部事業に従事いただいた競技役員を対象とし、慰労・懇親を目的とした競技会実施について検討していたが、更に、本部と各地方協会の交流を促進するため、各地方協会の会長・副会長・正会員・事務局長を対象に加え、年一回の交流射撃大会を開催したい。

スコアを争うだけでなく、くじ引き抽選会、BBQなど「楽しむ射撃大会」をコンセプトに企画したい。

(目的)

- ◆地方協会との交流や情報交換不足、周知不足や認識不足が原因で様々な誤解や問題が発生している為、交流や懇親を深め協会全体の好循環を促したい。
- ◆上部団体のガバナンス指導に情報公開の促進があり、協会全体で透明性を高め共通認識や情報共有に努めたい。
- ◆半強制的にでも参加を促がし、特に事務局長止まりの情報管理を是正したい。

(全員挙手により賛成)

(7) 専門委員会の構成について

事務局より、各専門委員会委員長から配布資料の通り副委員長や常任委員の選出報告があり、特に、所属長の了解を経ない「一本釣り」を廃止、地域に偏りが出ないように改善された旨報告。

(全員挙手により賛成)

なお、競技委員会は、人選調整時間不足や国際担当・講習担当の業務内容の誤認があり、再考の上次回の理事会までに報告することとなり、本日は承をいただいた他委員会は、事務局において委嘱作業を進めることを確認した。

(6) その他

- ◆江野澤監事より、千葉・韓国交流射撃大会の開催報告。

7月21日～25日まで千葉から韓国に移動し22日～24日の3日間で開催。多数の選手参加により当初予定の125個撃ちが100個撃ちに変更になったが、とても有意義な大会となった。次回(来年)は千葉で開催予定、輸出ライセンスを司る経産省も好意的であり、手続きの簡略化を打診中。

- ◆前回の理事会で承認いただいた理事会・総会における議事規則の作成について、総務委員会と事務局で原案を作成することになっているが、県会議員である井出理事、江野澤監事にも参画いただき、県議会のマニユ

アルを参考に堅固なものすることを申し合わせた。

- ◆理事・監事に就任承諾書や委嘱状等が配布され、本部事務局へ返信依頼。
- ◆次回理事会の開催日を調整した結果、平成 28 年 9 月 14 日（水）13 時より実施することを決定。
- ◆理事会終了後、会費制により南国酒家原宿店で理事・監事の懇親会を 17 時より実施。

以 上